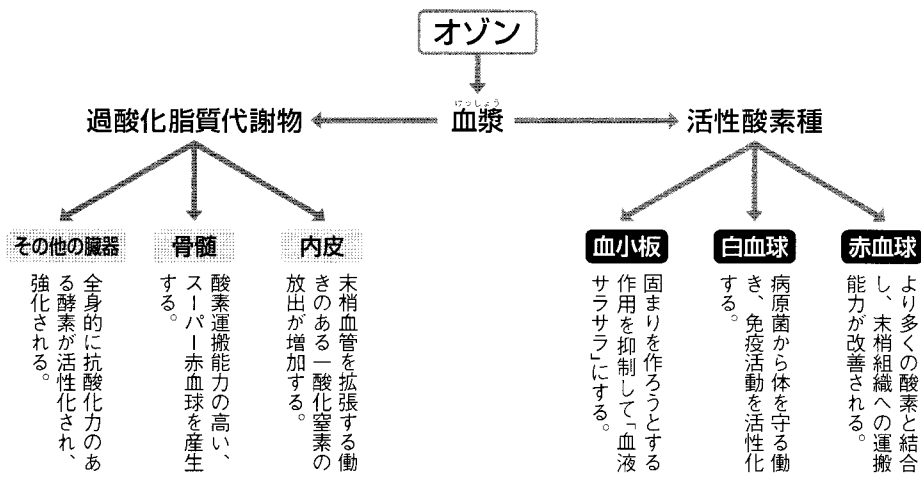


血液クレンジング療法が全身へ与える影響

どんな効果があるのですか？

体本来の抗酸化力を高め、女性ホルモンも刺激するという、注目のアンチエイジング療法について調べてみました。
 撮影・武方賢治 イラストレーション・タカセマサヒロ



血液にオゾンに触れさせることで、まず血漿中の抗酸化物質が反応して活性酸素が生じる。その際に赤血球や白血球など細胞成分に働きかけ、それらの働きを活性化。次にオゾンによって脂質が酸化されて過酸化脂質代謝物になり、全身に適度な刺激を与えることで活性化させる。

出典／渡井健男『血液クレンジング療法』2011年

体にもたらす好作用

- 1 抗酸化力の強化
- 2 全身の酸化化
- 3 末梢血流の増加
- 4 免疫機能の向上
- 5 細胞の活性化

ドイツでは70年近い歴史があり、医療において保険適用されている血液クレンジング療法。100歳まで生きたことで知られるイギリスのエリザベス王太后が受けていたアンチエイジング法としても注目されているという。日本でいち早くその療法を導入し、日本人に合わせた治療法を行っている東海渡井クリニック院長の渡井健男さんに話を聞いた。

「血液クレンジングとは、本人から採血した血液をオゾンと反応させてから点滴の要領で静脈に戻す方法です。オゾンが血液と触れることで起こる反応によって、抗酸化力や免疫力を高めるなど、全身に良い作用を促します」

オゾンとは、3つの酸素原子が結合した物質で、強力な酸化作用があり、殺菌や脱臭、食品の殺菌にも広く用いられている。オゾンによって生じた活性酸素が、細菌を死滅させているのだ。

「活性酸素といえは、老化の大敵ともいわれます。皆さんの中にも、活性酸素は悪い働きしかしないと思っている人が多いかもしれません。まず、活性酸素と酸化についてお話ししましょう」

食品や飲料が酸化すると色や味が悪くなったり、鉄が酸化してサビてしまうことから、「酸化」には悪いイメージがある。しかし、人間は酸素が細胞内でエネルギーを作り出す酸化で生命活動をしている。その際に活性酸素が発生。つまり、人間が生きていくには、酸化や活性酸素とは切っても切れない関係にあると渡井さんは説明する。

では、なぜ活性酸素はこれほど悪者

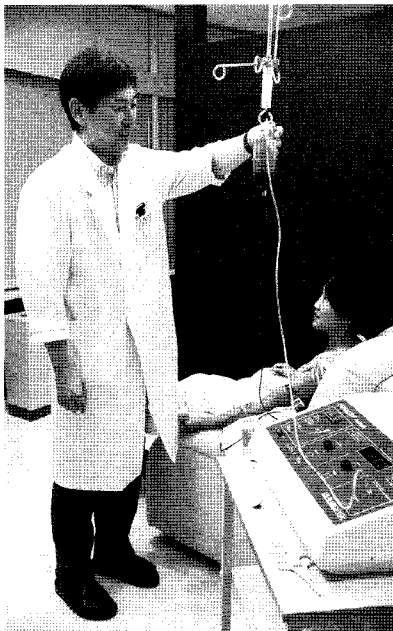
扱われているのだろうか。

「それは、現代人のライフスタイルが活性酸素を生じやすいからです。食生活の乱れや運動不足、過労、喫煙、ストレスといった現代人特有の問題は、体内の酸化を促します。酸化ストレスは過剰な活性酸素を生み出し、強い酸化力で細胞を傷つけ、老化やガン、生活習慣病の一因とされているんです」

体が本来持っている抗酸化力を強化する治療法。

一方で、活性酸素には、体内に侵入した細菌を殺したり、酵素反応を促進するなど、健康を維持するために必要不可欠な働きがある。とはいえ、活性酸素が多すぎると問題を起すことは間違いない。

「ですから、酸化ストレスの多い現代においては、健康のため抗酸化力を高める必要があります。そこで、欧米医療界で注目されているのが、少量の酸化ストレスを与えて、体が本来持つて



渡井健男さん わたらい・たけお
 東海渡井クリニック院長。日本酸化療法研究会会長。専門は外科、心臓血管外科。欧米で酸化療法と出会い、日本人に適した酸化療法を確立する。
<http://tokai-clinic.com/> 日本酸化療法研究会 <http://som.jp/>

その代表的なものひとつが血液クレンジングなのです」

「抗酸化力を上げるために、酸化させる？ 頭が混乱してしまいそうだが、」

「それも無理はありません。医師の中にも誤解している人もいます。でも、人体はうまくできていて、少しのマイナスはプラスに転じるきっかけになる。確かに過剰な酸化は体にとっては害ですが、少量で適切な酸化ストレスなら体の抗酸化力を引き出して向上させます。そのために用いるのがオゾンです」

広い意味では有酸素運動も酸化ストレス療法なのだそう。有酸素運動を行うと安静な時に比べれば多くの活性酸素が体内に生じるが、それと同時に抗酸化力も高まるため、結果的に酸化しにくい体になるといえる。なるほど！

「この療法によって強化された抗酸化力は、自身の体の力によって向上した

長期間持続することがわかっています(グラフ参照)。これはワクチンと似ています。体内に病原体を入れることで、同じ病原体への抵抗力がつくように、少量のオゾンは酸化への抵抗力を確実につけてくれるのです」

女性ホルモンも刺激し肌や髪への好作用も期待できる。

実際、血液クレンジング療法を利用して利用できないのは、甲状腺機能亢進症の人と妊娠している人、G6PD欠損症(溶血性貧血が起きる遺伝病)の人。それ以外は、どなたでも受けられます。病気治療の一環として取り入れる人もいれば、パフォーマンスを上げるためにとスポーツ選手や、健康維持目的で高齢者も多く来られています」

血液クレンジングのメリットは、細

るため、人によって体感する内容も変わってくるという。

「細胞のATPというエネルギーのもとが20%程度上がるという実験結果も出ており、疲れにくくなってスタミナもつきます。血管を広げて循環を良くするので、冷え症の人にも体感しやすいですね」

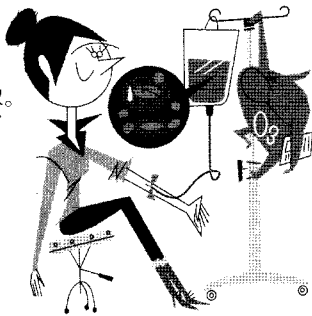
治療を受けると、その場で体がほかほかしてきたり、視野が広がったり、頭がすっきりする、肩こりが楽になる、体が軽くなるといった感想が多いそう。「わかりやすい変化は血液の色です。1回目はドス黒くドロドロで点滴するのに時間がかかる人が、2回目からは色もきれいでサラサラになっています」

血液が黒いのは、酸化ストレスを処理しきれず、疲れの溜まりやすい状態を表しているが、血液クレンジングによって機能が高まると、血液の酸素濃

血液クレンジング療法の流れ

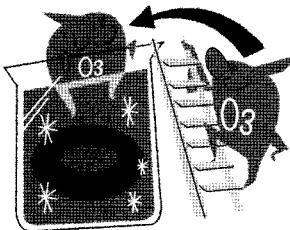
採血

約100mlの血液を採取。年齢や体重、体調などで多少増減する。



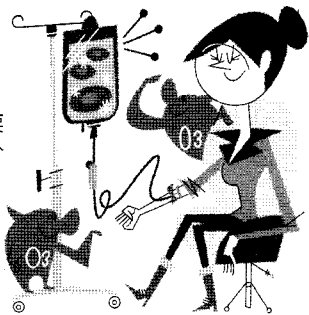
血液のオゾン化

オゾンと採取した血液を混ぜる。患者さんに適したオゾン量を投与。

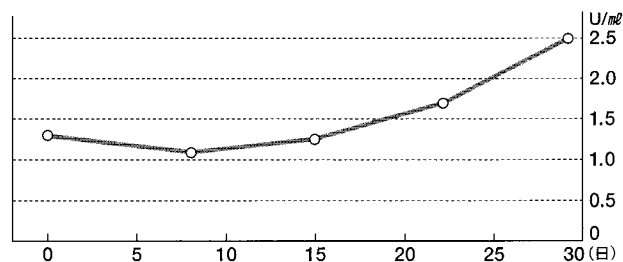


オゾン化血液の点滴

オゾン化した血液を体に戻す。所要時間は全部で30分程度。



血液クレンジング療法による抗酸化力(SOD)の活性化



血液クレンジング療法を定期的に行っている患者の血液中のSOD(スーパーキッドディスムターゼ)の変化値。SODは活性酸素を消去する酵素で、多いほど抗酸化力が高いことを意味する。つまり、自分で抗酸化力を強化している。出典/渡井健男「血液クレンジング療法」2011年

度が高くなり、きれいな赤色に。それは健康状態が改善されている証拠。40代からの女性へのメリットは？ 「老化する細胞の抗酸化力アップはもちろん、もうひとつ、女性ホルモンを刺激することもわかっています。体感に差はありますが、肌のハリがよくなったり、髪が黒くなったと実感する人もいます。美容に限らず、この療法を行って、初めて血液の状態に気づく人もいます。血液の状態が良くなって、当たり前前になつていた頭痛や倦怠感などの不調が良くなったというケースも。血液は健康状態を表すものですので、自分の血液状態を知る上でも役立つと思います。費用は保険適用外なので、1回2万円ほど。日本でも早く認可してほしいですね」